



飛騨山脈ジオパーク構想エリア

① 槍ヶ岳

日本で5番目の高さ、3180mの槍ヶ岳は、およそ7万年前に始まり1万年前まで続いた地球上最後の氷河期の影響を受けています。山頂を中心に4つの水河がその山体の麓を削り、三角形の特徴的なピーク付近が残りました。

さらに、写真のように槍ヶ岳の先端は、東に20度ほど傾いてお辞儀をしたようになっています。この傾きは飛騨山脈が急速に上昇した時、槍ヶ岳が信州側に傾いて隆起したためです。これを傾動運動といいます。

② 穂高連峰

飛騨から見る穂高連峰は、西穂高岳から北穂高岳まで続く急峻な尾根の連続です。鋸歯状山稜ともよばれる景観は、国土地理院の日本の典型地形にも掲載されています。

太平洋プレートの圧力や、マグマの上昇などが相まって、地質的な時間では、驚異的な速さで上昇した山脈ならではの山岳景観です。

かつての槍穂高付近は、超巨大火山で、約176万～175万年前に2回の大噴火を起こし、火山灰は700km²で富士山2つ分に迫ります。

③ 乗鞍岳

128万年前から86万年前にかけて古期乗鞍火山（千町火山体）が活動し、50万年の間において新期乗鞍岳が活動を始め、現在に至っています。

乗鞍岳は活動の歴史の中で、2回の大規模な山体崩壊を起こしています。西側の山体崩壊の跡に恵比須火山体、権現池火山体が溶岩を流し込み、五色ヶ原の森を形成しています。

標高2702mの畳平までバスやタクシーで行ける乗鞍スカイラインは日本一高いところを走る山岳観光道路です。

④ 笠ヶ岳

笠ヶ岳は、かつてはカルデラ火山でした。一般にカルデラ火山といえば陥没地形をイメージしますが、笠ヶ岳はカルデラの周辺が侵食されて、カルデラの内部が露出しています。中でも穴毛谷はカルデラ内部が侵食された場所で、カルデラ内部の堆積物の様子が明瞭に見えています。カルデラの内部は、厚い溶岩高温の火山噴出物が交互に積み重なっています。これらの地層は、植生やデコボコの違いを生じるため、遠くから笠ヶ岳を見ると、横縞模様をつくっています。

⑤ 焼岳

焼岳（標高2455m）は今も火山活動を続ける活火山です。別名を硫黄岳といい、日本百名山に選定されています。

約2300年前の噴火により現在の山体になりました。大正4（1915）年の水蒸気噴火で発生した土石流が梓川をせき止めて上高地の大正池を形成しました。最近では、昭和37（1962）年に水蒸気爆発があり泥流が発生しています。

焼岳の溶岩は粘性が強く、山頂付近に溶岩ドームを形成しています。



Facebook

Instagram

HP



『この中に5億年』～飛騨山脈ジオパーク構想とは～

岐阜県高山市奥飛騨温泉郷、上宝町、丹生川町のエリアでは、日本列島の形成に関わる地質時代の岩石や地殻変動の痕跡など、5億年もの時間の流れを体験することができます。飛騨山脈ジオパーク構想の主なジオサイトをご紹介します。

⑥ 福地化石産地

奥飛騨温泉郷福地周辺は、古生代オルビス紀からペルム紀の多彩な化石を産出します。一ノ谷は1.4ヘクタールにわたって、国の天然記念物に指定され、立ち入りも制限されています。

福地山は登山道も整備され、飛騨山脈の眺望の楽しめる山です。登山道には石灰岩の転石が多く見られ、多くの転石に化石が含まれています。風景だけでなく、道端の化石にも目を止めてジオ登山が楽しめます。

写真は蜂の巣サンゴの化石です。

⑦ 乗鞍山麓 五色ヶ原の森

36万年前から活動した乗鞍岳烏帽子火山体の崩壊跡に、恵比須火山体、権現池火山体から溶岩が流れ込みました。溶岩流の表面は、溶岩塊が転がり地元で「ゴスワラ」と呼ばれ、歩行困難な地形です。乗鞍岳に降った雨は巨大な山体に染み込み、滝となって流れ出しています。

最奥部には国内ではほとんど見られなくなった手つかずの原生林の森が残されています。

3つのコースがあり、認定ガイド同伴が条件の本格的なネイチャートレイルが楽しめます。

⑧ 平湯大滝

日本の滝100選にも選ばれたこの滝は、十数万年前に乗鞍岳烏帽子火山体が山体崩壊し、その跡へ四ヶ岳火山体の溶岩が北に流れました。その溶岩の先端に平湯大滝があります。

四ヶ岳周辺の降水を集め溶岩層から流下する滝が平湯大滝です。溶岩流の断面は明瞭なU字形を見せています。溶岩の下には山体崩壊に伴う土砂が見えています。

滝の下流の北側には、海洋底の堆積物が構造的に付加された美濃帯が顔を出しています。

⑨ 本郷河岸段丘

上宝町本郷周辺は、高原川に形成された河岸段丘上にあります。高原川をせき止めてしまうほどの大量の土砂は、火山泥流です。その堆積物に含まれる溶岩れきのできた時代を調べてみると、13万年前から16万年前という値が得られました。これは旧期焼岳火山の活動時期に重なり、岩坪山・大榎火山の噴出物が相当します。岩石が壊れてきた破片や粒子である火山砕屑物が水と混ざり、火山泥流となって、この付近を埋め立てたことがわかります。食味日本一のお米が育つのはこの河岸段丘です。

⑩ 温泉

奥飛騨温泉郷は、平湯、福地、新平湯、栴尾、新穂高と5つの温泉地があり、日本で最も露天風呂の数が多いといわれています。

活火山の焼岳などの巨大なボイラーの恵みで全国第3位の湧出量を誇り、村上天皇が湯治に訪れた福地温泉や飛騨に侵攻して疲れ果てた武田軍が白猿に教えられたとされる平湯温泉。親孝行の息子が病気の父のために探したとされる孝行伝説の残る新穂高温泉蒲田地区など、それぞれの温泉地に古くからの歴史があります。